

日本学術振興会二国間交流事業共同研究  
「21世紀の南アフリカと日本における  
シティズンシップ」シンポジウム

# シティズンシップの概念化 — 先行研究の批判的再検討 —

日時：2017. 7. 26 wed 9:00~

会場：四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパス

開会挨拶・趣旨説明

「21世紀の南アフリカと日本のシティズンシップに向けて」  
波佐間逸博（長崎大学）

講演 1 “Rethinking Citizenship in 21<sup>st</sup> Century Africa”

フランシス・ニヤムンジョ（ケープタウン大学）

講演 2 「死者を含んだシティズンシップ概念の提唱」

梅屋潔（神戸大学）

講演 3 “History, Narrative and the Poetics of Postcolonial Citizenship”

ハリー・ガルバ（ケープタウン大学）

講演 4 “Negotiating Belonging and Masculinity in Public Health Facilities, South Africa”

サクフムジ・ムフェカネ（ネルソンマンデラ・メトロポリタン大学）

閉会挨拶 松田素二（京都大学）

司会進行 森口岳（学習院大学）

共催

神戸大学国際文化学研究推進センター、四天王寺大学、科研費基盤研究（B）「アフリカン・シティズンシップの解明：ウガンダ社会の動態とシティズンシップの関連性」（代表：波佐間逸博、長崎大学）、科研費基盤研究（C）「モビリティとシティズンシップ—ウガンダ・アルバート湖岸地域の共生原理」（代表：田原範子、四天王寺大学）